

ちょぼら

みんなで楽しく気軽にちょっとずつのボランティア

vol.70

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



ボランティア連絡協議会の全体研修会

今年、小郡市の田中イリュージョンさんによるマジックショーと、大刀洗中学校2年生坂本紗綾さんによる「けん玉大会」を開催しました。会員をはじめ、近年ボラ連とつながりのできた就労継続支援 B 型事業所「ブルースカイ」、放課後等デイサービス「きらきら」のこどもたちも一緒に、みんなでけん玉に挑戦。たくさんの笑い声と笑顔がはじけました。

01-ボランティア連絡協議会の
全体研修会

02-ボランティア入門講座報告

「みんなでこどもの居場所を考えよう！」

～久留米市「じじっか」の活動より～

03-ほっこり井戸端サロン「みんなで、
環境問題について考えよう」

衣装ケースでキエー口を作ってみよう

04-団体紹介

こんにちは！おむすび食堂です
次回ほっこり井戸端サロン予告

令和8年度 ボランティア入門講座報告



講師

一般社団法人 umau

代表 中村 路子^{みちこ}氏

「みんなでこどもの居場所を考えよう！」

日時：6月27日（土）

場所：大刀洗ドリームセンター

ボランティアセンター運営委員 宮崎 誠

中村路子さんのお話を聞いて、「居場所作りとは何か」を教えてくださいました。

シングルマザーとしての自身の苦勞を出発点に、単なる食料支援ではなく「血縁関係のない大家族作り」という理念を掲げて活動を展開されていて、本当の意味で貧困からの脱出とは何かを考えさせられました。

特に心に残ったのは、「立方体で人を見る」という考え方です。暴力を振るったこどもに対して、行動だけで判断するのではなく「なぜ？」という軸を加えることで、排除から受容へと関わり方が変わるという視点は、教育や福祉の現場で本当に必要とされている姿勢だと感じました。

また、大人が考える「正解」ではなく、「自分流」こどもの意思を見守る存在が大切、地域共生社会に向けて大切なお話でした。

「背中に手を添えておく教育」という、押しつけではなく一緒に伴走することを大切にしていこうと思います。



Q. 心に残ったことは何ですか？

こどもに対しての正解はない…でも、向かい合うのはやはり「人間」なんだなと思った

貧富の差が大きくなって、厳しい状況におかれるこどもたちがいる…何ができるのか、「見方」「考え方」を深めたい

自分にできること、「やさしく見守る」をしようと思った

こどもたちの意思をゆっくり聞く環境が必要だなと思った、じじっかさんの考え方は共感できることばかりだった

Q.どんな場所があったらいいと思いますか？

いつ来ても、いつ帰ってもいい場所、何かを求められることもなく、思い思いに過ごせる場所、そこにあたたかいまなざしが注がれる場所

各校区にこどもたちが気軽に立ち寄れる場所、誰も否定されず語り合える場所

近くに（こどもが）自分で気軽にいける場所、校区センターや公民館を活用して

おとなもこどもも安心できる場所がたくさんできるといいナ

ボランティア連絡協議会の

ほっこり

誰でも・気軽に

井戸端サロン

テーマ「みんなで、環境問題を考えよう」

ゲスト： (有)三輪産業 企画部長 道久嘉朗さん
生ゴミコンポスト・キエーロの会 代表 福村千代美さん
地球温暖化を楽しく学び隊 代表 秋吉定利さん

今回は「環境」をテーマに、それぞれの視点からお話を聞き、意見交換をしました。



ほっこり井戸端サロンに参加して

川野 静子

三輪産業のお話では、ゴミの分別や出し方の大切さを教わりました。可燃ゴミをスムーズに収集するために、カラスの被害を防ぐ、ゴミを道路際に出すなど協力してほしいとのことでした。そして焼却炉の燃焼効果を上げるためには、生ゴミの水切りをしっかりとすることが大切とお聞きしました。

地球温暖化のお話では、気候変動を解決するキーマンは子どもたち！これからは未来を生きる子どもたちと地球温暖化防止について考えていこう！というお話を聞きました。

キエーロのお話はとても興味深いものでした。土の中に生ゴミを入れて混ぜるだけで、数日後には生ゴミが消えるしまう！こんな簡単なことで生ゴミが削減できるのなら、早速私も衣装ケースに土を入れて、キエーロに取り組んでみたいと思いました。

とても勉強になり意識が変わった。ゴミをしっかりと分別しゴミを減らすようにしたい



これからも生ゴミを減らせるキエーロをがんばりたい

地球温暖化、ゴミ問題を次世代に送ってはいけない、今できることはいろいろあることに気づかされた。キエーロ、リサイクルにもっと力を入れていきたい

今日の内容がもっともっと周りに伝わっていくといいなあと思いました、子どもたちへ伝える方法も考えていきたいと思います!!

【衣装ケースでキエーロを作ってみよう】

「キエーロ」は、土の中に住み着いている微生物（バクテリア）が生ゴミを分解し、消滅させる非電動型の生ゴミ処理容器です。

バケツや、プランター、衣装ケース等で手軽に始めることができます。

【作り方】

- * 衣装ケースに高さ20cm以上の土を入れる（砂や赤土は入れないで下さい）
- * 雨よけ、風よけ、太陽光を取り込むため、透明の蓋を用意してください
- * 蓋は、棒などで隙間を作っかぶせ、通気をよくしましょう
- * 中を6等分に分けて、1等分に1回ずつ生ゴミを投入します
- * 生ゴミは細かく切って投入しましょう
- * スコップで土を掘り、生ゴミを入れます。
- * 土と生ゴミをよく混ぜ上から乾いた土をかぶせます
- * スコップは、次の投入場所にさしておきましょう
- * 投入した生ゴミは7～10日で消滅し、土は増えません



こんにちは！おむすび食堂です



おむすび食堂は、元民生委員、元主任児童委員の3人で活動を始めました。菊池校区センターで地域のお年寄りとこども達と一緒に、おむすびを握りながら、話したり、交流したり、食べたりする楽しい場です。

メンバーの思い

この活動は、民生委員の活動と小学校で関わった「福祉教育」の経験がきっかけです。ミニデイはお年寄りのための活動ですが、こども達と授業を進める中で「お年寄りもこどもも一緒に関わることができたら素敵だな～」と思い、メンバーや地域の方に声をかけながら活動することになりました。

核家族が増えている中、こどもたちにはお年寄りとの交流「年をとること」について知ること、見るのが大切と思っています。また、親以外の誰かとの関わりで、相手を思いやる気持ちが芽生えてくれると嬉しいです。

おばあちゃんが味付けや、おにぎりの握り方をこどもたちに教えてくれたり、逆にこども達はシール交換で遊んで「今こんなのが流行っているの？」という会話が見られたり・・・お年寄りもこどもも楽しみながら、知り合いになれる場となっています。お互いに知りあう機会になっています。

やっと3回の開催で、これからについては、絶賛模索中です！（笑）

お料理上手なメンバー、PR係のメンバーに恵まれ、和気あいあいと「楽しく！」活動しております。

これからも活動していきますので、応援のほどよろしくお願いたします。



次回の開催は・・・

日時：9月6日（日）11時～

場所：菊池校区センター

参加費：100円

菊池校区の小学生やご家族、高齢者のみなさん、来てね～

次回 ほっこり井戸端サロン予告

福祉やボランティアをテーマにさまざまな活動をされている方のお話を聴き、誰でも参加でき、自由に意見交換できる場として開催しています。

次回のテーマは「食を通した居場所づくり」です。関心のある方はぜひご参加ください。お茶を飲みながらゆる～く語り合しましょう。

日 時：令和8年10月3日（土）午前10時～11時30分

場 所：ぬくもりの館 会議室AB

ゲスト：食を通した居場所づくりをされている方々

編集後記



例年より早い梅雨明けは、今年も猛暑になるという危険信号！それも生命の危険につながる信号です。くれぐれもご自愛のほど・・・。

スマイル



代表 福 村 宮 生
福 村 千代美
宮 崎 誠

発行日：2026年7月31日